

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37 (電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



情熱と行動力

この夏は、毎日が寝不足で困りました。みなさんの中にも、同じような人がいるかもしれませんが、パリオリンピックをテレビで食い入るように見ていたからです。スポーツが大好きな私は、毎日、勝っても負けても、テレビを通してたくさんの感動を与えられました。柔道、体操、バレーボール、卓球…すべての競技においてです。

さて、これからはパラリンピックが始まります。このパラリンピックは、1964年、第一回目の東京オリンピックが行われた年に日本は初めて参加し、この大会から「パラリンピック」という名称が使われることになりました。この東京パラリンピックに参加したのは世界21か国、日本の選手は53人でした。その人たちは、ほとんどが国立病院や療養所の訓練生で、仕事をしていたのは自営業の5人だけ、一人で外出もままならず、ましてスポーツなどとは全く縁のないのが、当時の障がいをもった人たちの置かれた状況でした。

そこに風穴を開けたのが東京パラリンピックだったのです。そして、この最初の一步を踏み出すのに大きな力を尽くしたのが「日本のパラスポーツの父」と呼ばれる中村裕医師でした。1960年当時、日本では障がいをもった人々は「ベッドで寝ているのが一番」と言われていた時代に、イギリスでは脊髄損傷患者の85%が6か月で社会復帰を果たしているという事実衝撃を受けました。そして、きっと何かよほど特殊な治療法があるのだと、研究のためにイギリスの病院を訪れました。

すると、そこで行われていたのは「一日でも早く機能を回復させるために」スポーツでリハビリ効果を上げることでした。指導を受けたグッドマン博士の『失ったものを数えるな 残されたものを最大限生かせ』という教えを体現しようと、帰国した彼は奔走して障がい者体育大会を開きました。「無茶だ」「体調を崩したらどうするのか」という反対意見ばかりの中でも中村さんは動じませんでした。「これは間違いなく患者のためになる」という確信があったからでしょう。そして、37歳の若き医師の情熱が、東京パラリンピックという記念すべき大きな大会の開催へとつながりました。

眼鏡をかけている人は眼鏡を外した途端に生活がままならなくなります。老いると視力が衰え、足腰が弱くなります。私たちは誰もが体に障がいをもつ可能性と地続きの世界にいます。8月28日(日本時間29日)がパリ・パラリンピックの開会式でした。体をめいっぱい使い、動きに工夫を凝らして自らの可能性に挑む。そんなパラリンピアンのは、障がいや世代、性別や国籍を超えた人間の「個」としての尊さを伝えてくれます。オリンピックと同様、また心を熱くさせてくれそうです。

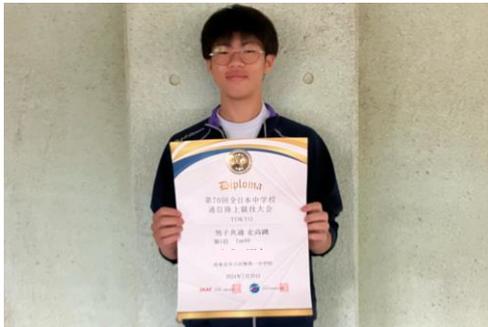
【部活動 結果報告】

陸上部

通信陸上競技大会 3年
種目 男子走高跳 結果 第1位(1m88)

【顧問からのコメント】

本大会では自己ベストを大幅に更新し、全国大会への出場を決めました。実績と大きな経験を得られた大会となりました。



剣道部

夏季都大会 2、3年
種目 男子団体、女子団体 結果 1回戦まで

【顧問からのコメント】

日頃の練習で培ってきた成果を発揮できるよう、全員が尽力しました。今後につながる手ごたえを感じた大会でした。



サッカー部

第22回西東京市中学校スポーツ大会
現在 全校総当たり戦で実施中

【顧問からのコメント】

新チームで挑む最初の大会です。声を掛け合い、チームワークや雰囲気大切にしながら最後まで走り続けます!!



音楽部

NHK全国音楽コンクール東京都コンクール
結果 銀賞

【顧問からのコメント】

本番の広い会場でも、自分たちで作り上げた音楽を、音楽部らしく明るくパワフルに表現することができました。



【全学年】 集団下校訓練 (8月28日)

2学期始め、集団下校訓練を行いました。各班に分かれ、安全な通学路、AEDの位置などの確認をしながら、「セーフティステーション」についても話しました。これは、何かあった際に、逃げ込んだりできる、地域の安全や安心に貢献してくれるお店や施設などのことを指します。みなさんの周りには助けてくれる人が沢山います。下校時のルールやマナーを大切にするなど、普段からみなさん一人一人が「西東京市」の一員であることを自覚し、感謝の気持ちを持ちながら、互いに支え合える人になっていきたいですね。



【全学年】 教育相談 (8月29日～9月4日)

生徒が夏季休業明けの学校生活を円滑にスタートできるよう、本校では2学期の始めにスタートアップ期間を設けています。この期間に担任との二者面談を実施し、新学期に向けた気持ちの整理や2学期の目標の共有を行い、生徒が充実した学校生活を送れるようにしていきます。

